

# シロエビが食べていたもの・・・

## 研究分野

水産資源を管理・利用する

## ねらい

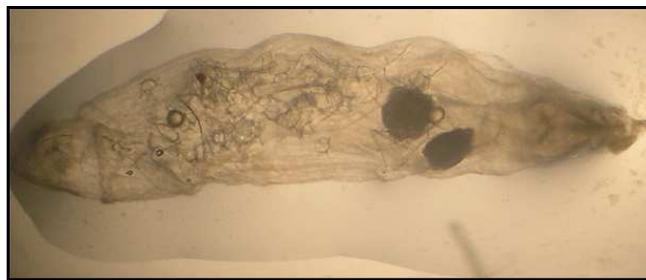
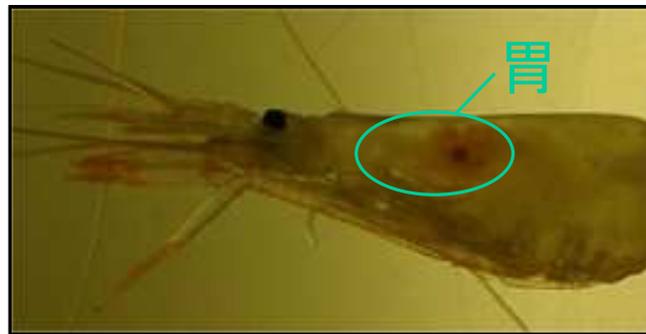
- ・ シロエビは、透明で淡いピンク色をしたエビで、大人になると体長が8 cm、体重が2 g 程度になります。
- ・ 生息が確認されている場所としては、駿河湾（静岡県）、相模湾（神奈川県）、遠州灘（静岡県・愛知県）があげられますが、シロエビを狙った専門的な漁業が行われているのは富山湾（富山県）だけです。
- ・ シロエビは、富山県にとって大切な水産資源ではありますが、生態についてはわからないことだらけです。そこで、今回は、食性（何を食べて生きているか）について調べました。

## 成 果

- ・ シロエビは、動物プランクトンを食べていました。その中でもアミ類やオキアミ類（両方ともプランクトンの仲間）と言われる生物をよく食べていました。
- ・ アミ類、オキアミ類以外にシロエビが食べていた生物は、小型のシロエビ、小型の魚、小型のイカ等でした。

## 活 用

- ・ シロエビの食性が明らかになり、シロエビの分布範囲や漁獲量の変動要因を調べる際に役立っています。



外から見たシロエビの胃の写真（上） 取り出したシロエビの胃の写真（下）

研究実施期間 平成 15 年度～平成 16 年度

問い合わせ先 富山県水産試験場（076-475-0036）